

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-6 再生可能エネルギーの利活用の推進
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	経営課長 黒目浩喜・施設課長 領家信介	電話番号	0852-22-6645、6642
----------	---------------------	------	-------------------

事務事業の名称	県営電気事業			
目的	(1) 対象	県民		
	(2) 意図	枯渇のない地域資源を活用した再生可能エネルギー電気の安定供給に努めるとともに、地球環境保全にも寄与する		
事業概要	地域資源を活用した再生可能エネルギーによる電気を安定的に供給するため発電施設の効率的な運転と適切な管理を実施する。			

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			供給電力量	目標値		178,407	172,120	169,657	
		年間供給電力量	実績値	191,404	147,344	186,481	161,204		
			達成率		82.60	108.30	95.10		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費 (b) (千円)	2,163,480	5,553,646
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

水力：八戸川第一発電所の長期修繕を行ったため供給電力量は目標に対して94.8%であった。
 風力：機器故障が多かったため供給電力量は目標に対して88.7%であった。
 太陽光：天候に恵まれた日が多かったため供給電力量は目標に対して116.6%であった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

大峯山風力については、設備稼働率が過去の最高値レベルを達成した。（77.9%）
 太陽光は目標を上回った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

風力については設備稼働率及び設備利用率が目標に達していない。
 （設備稼働率：大峯山 目標：92.0% 実績：77.9% 高野山目標：90% 実績：81.0%）
 （設備利用率：大峯山 目標：28.0% 実績：21.0% 高野山目標：20% 実績：15.2%）

②困っている状況が発生している「原因」

風力は故障による機器停止が設備利用率の低下に影響している。

③原因を解消するための「課題」

故障発生時に早期の復旧を行う。
 故障を防ぐ機器の改良及び運転方法の見直し。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

故障を防ぐ機器の改良を行う。
 故障を発生させないための運転方法を検討する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）